

株式会社ジェイコム南横浜

2018 年度 放送番組審議会 議事録

2018 年度の放送番組審議会は、2019 年 2 月 25 日(月)に株式会社ジェイコム南横浜で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

—ご出席—

新井 克弥 様	菊嶋 秀生 様	鴫田 要一 様
本多 淳一 様	山野井 正郎 様	渡辺 ひとみ 様

—ご欠席—

片桐 為義 様	原 久美子 様
---------	---------

事業者側から局の現況、及び J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】(山野井会長による進行)

◆「デイリーニュース」について

委員 地域番組としてのデイリーニュースは視聴率が高いと思う。

最近、NHK でも頻繁に取り上げられている「特殊詐欺の防犯キャンペーン」それでも被害にあう方は後を絶たない。特に横浜市栄区は狙われている地域であると聞いている。このデイリーニュースでスポット的に取り上げる事は出来るのか。

事業者 デイリーニュースでは毎週金曜日に警察情報コーナーがあり、各警察署の方に出演いただき注意喚起をしている。

最近ほとんどが特殊詐欺に関する情報で、毎週のようにデイリーニュースで注意喚起を行なっている。

委員 嘘のような話を警察の方からも聞いている。このような啓蒙はぜひ必要なので引き続きお願いする。

委員 デイリーニュースの中で「栄区なう!TV」があるが、南横浜エリアは栄区だけではないので、この栄区だけに特化している理由と狙いを教えて欲しい。

事業者 このコーナーに対して、栄区から予算をつけてもらって制作している。ほかの区にも呼び掛けはしているが予算の都合が付かないという事で、現状栄区のみとなっている。

委員 デイリーニュースで一年弱の期間で 764 本の取材はすごい本数だと思う。このネタ元は何処から情報収集しているのか。

事業者 色々なパターンがあり、一つは視聴者または今まで関係を築いてきた方からの取材依頼・要請が電話やメール、FAX 等である。

ほかに地域プロデューサーが地域から取材依頼を受けるとというのが大半を占める。

それ以外では我々独自で地域の新聞やインターネット等を使い情報収集している。

割合でいうと取材依頼が半分強、3 割程度が我々自ら探してくるもの、残りの 2 割は、地域プロデューサーが見つけて来るものである。

地域バランスでいうと金沢・港南・戸塚・栄の 4 区を、出来るだけ均等に取材することを意識している。

委員 キメ細かく取材しているといつも感心している。日頃、地域とのコミュニケーションが出来ているからこそ活かされていると思う。

地域の情報提供の原点を忘れずに大変だと思うが頑張っていて欲しい。

委員 取材の時のルールで、お祭りなど多くの人がある場合、映して欲しくない人などのクレームをどう対応しているのか。撮影する時の工夫や苦労している所を教えてください。

事業者 最近、肖像権や個人情報など気にされる方が非常に多くなってきている。公共の場であればその代表の方に撮影の許可をいただいている。学校など取材する場合は、保護者からの承諾書を貰うようにしている。

祭りなど大勢の方がいる場合は、承諾書を取ることが物理的に無理な為、J:COM が取材していると分かるよう腕章やジャンパーなどを着用し視覚的に訴えている。

撮影取材上のクレームは、正直今までゼロ件ではない、そういった場合は番組内で訂正している。

委員 取材するイベントなどは、年間スケジュールを考えると予め毎年ルーティンで入れているのか。

事業者 取材で毎年スケジュールに入っているものは、依頼者から毎年依頼があるというパターンがほとんどである。

我々のスタイルとしては、取材依頼のあった物の8割～9割は取材に伺っている。

◆レギュラー番組について

委員 こども会議で親御さんの感想はフィードバックされているか。

授業参観に来られる保護者も少なくなってきたので、このような番組で子供たちの発言されている姿を見るのは、親御さんにとってもすごく良い番組だと感じる。

事業者 学校を通して感想をフィードバックしてもらっている、ほとんど喜んでもらっている。テーマについては、学校側とテーマを決めるだけで子供達は当日ぶっつけ本番で話をしている。

当初は質問を学校側に渡し、先生が子供たちにプリントを渡していたので、子供たちはそのプリントを持って読んでいる感じでした。子供達はプリントに無い質問が出ると答えられなくなった事があった為、現在のように自由に発言できるスタイルになった。

委員 個別支援級が排除されるような事は無いのか、またその子供たちがキラリと光る映し方が出来ているのかが気になっている。

事業者 排除するようなことはない。以前、個別支援級の児童が収録中に居ない時があったが、校長先生がその事に気づきもう一度撮影し直したことがあった。

委員 横浜人図鑑は、ビジュアル的にどういった工夫をされているのか。

事業者 人図鑑シリーズは、1台の固定カメラで、進行するMCとゲストの2人を20分間撮影し基本ノー編集放送としている。

委員 情熱アスリートなどの番組の二次利用はしているのか。スポーツ系で有力選手など取り上げて視聴に繋げることはあるのか。

事業者 二次利用としては再放送をしている。

その他に、プロになって活躍している方の小学生の時のチームを紹介した素材ビデオを民放から映像を借用したいなどの問合せもある。

◆特別番組について

委員 4K・8Kがだいぶ普及してきて鮮明に見られるようになってきているが、今後はどうなっていくのか。

事業者 これからも 4K・8K はどんどん普及していくと思う。スマホでもテレビは見られるので、リビングで大きな画面で楽しむのは 4K・8K、情報やエンタメはスマホで見るなど使い分けて行くのではないかな。

委員 先日、消防のヘリコプターに乗せてもらったが、地上との位置関係が全然違った。上空から地域を見た映像は馴染みがないので、大岡川の源流の円海山など自然の景色をドローンなどで撮影し特別番組にするのは面白いと思うがいかがかな。

事業者 ドローンの映像は撮影しておいて良いと思う。有事の際に利用できると考えられ、記録としても貴重なものとして有効になると思う。

委員 軟式野球大会で金沢区だけでなく、戸塚区、栄区、港南区、金沢区の少年野球の大会をまとめて貰えれば素晴らしい番組になるのではないかな。

委員 港南だけでも 30 チームあるので決勝だけでも取材に来て欲しい。

事業者 ニュースとして取り上げることは出来るのでお知らせいただきたい。

委員 Bリーグの中継でアウェイゲームを中心としているのは何か意図はあるのかな。

事業者 Bリーグは J-SPORTS や TVK で放送し、比較的ホームゲームは見に行くことが出来ると思う。あえてアウェイに拘ったのは地方開催が多いので見に行けないのではないかなと思い放送している。

委員 県立高校入試解答速報の模範解答はどのようにして入手しているのかな。

事業者 模範解答と試験問題は、県の教育委員会から入手している。試験が始まってから 20 分後位に県の記者クラブに情報が入るようになっている。
解説は塾の先生にお願いし、放送は試験当日の 18:00 から放送している。

◆ J:COM テレビ、ど・ろーかるアプリについて

委員 ソーシャルメディアは当たり前の時代になって来ている。ど・ろーかるアプリはクローズドで J:COM を良く見る方は年配の方が多いと思うが、ソーシャルメディアを頻繁に利用している若者との関連付けが今後の課題になるのかと感じている。

E-Game を J:COM で取り上げているのは非常に良い事だと思う。海外では人気があり日

本は出遅れている感がある。

プロレスは地方で色々と開催されている、J:COM のメリットを活かして取り上げていけば勝機になると考えられる。

委員 E-Game については、母親はまだ判らない部分がありこのような形で新しい認識を作っていくのは良いと思う。

委員 長野のローカルテレビが来て、人を採用するのに企業紹介の番組を制作し放送してみないか、60~70 万の制作協力費で放送すると言われ 1 月に放映してもらった。企業側としてはきちっとしたテレビで紹介されるというのはポテンシャルが上がるので、地域の企業を紹介する番組があっても良いと思う。

委員 色々と意見も出たと思います。活発なご審議ありがとうございました。

事業者 本日は、長い時間ありがとうございました。皆様から頂いた貴重なご意見を今後のより良い番組作りに役立てていきたい。

以上